

## 第一級陸上特殊無線技士の受講要件

第一級陸上特殊無線技士の受講にあたっては、次のいずれかに該当する者であることが必要となります。(いずれも証明書が必要です。)

- (1)学校教育法第1条に規定する高等学校又は中等教育学校の電気科又は電気通信科を卒業した者(無線従事者規則第21条3項)
- (2)学校教育法による、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校又は中等教育学校(高等学校又は中等教育学校の電気科又は電気通信科を除く。)の電気通信に関する課程を有する学科を卒業した者
- (3)学校教育法による大学の電気通信に関する課程を有する学科を1年次以上修了した者又は高等専門学校の電気通信に関する課程を有する学科を3年次以上修了した者
- (4)入学資格を学校教育法第57条に規定する者とする修業年限が3年以上の学校((2)に掲げるものを除く。)の電気通信に関する課程を有する学科を卒業した者
- (5)入学資格を学校教育法第90条に規定する修業年限が1年以上の学校等((2)又は(3)に掲げるものを除く。)の電気通信に関する課程を有する学科等を卒業し又は修了した者(「修了した者」については、1年以上を修了した者に限る。)
- (6)第二・第三級総合無線通信士、第一・第二・第四級海上無線通信士又は航空無線通信士の資格を有する者
- (7)当該認定申請前5年以内に通算して3年以上(学校教育法による高等学校又は中等教育学校を卒業した者((2)に掲げるものを除く。))及びこれに準ずる者の場合は、1年以上)多重無線設備の保守の補助又は搬送端局設備若しくは電力線搬送端局設備の保守に従事した経歴を有する者。この場合において、高等学校を卒業した者に準ずる者は、学校教育法第90条第1項に規定する大学に入学することができる者とする。[\(証明様式はここをクリック\)](#)
- (8)日本無線協会が実施する第一級陸上特殊無線技士の**選抜試験**※に合格した者(合格通知書が必要です。)

### 選抜試験※について

「選抜試験」とは、上記(1)～(7)の受講要件に該当しない場合に、日本無線協会が実施する選抜試験を受けて合格(60点以上)することで、第一級陸上特殊無線技士の養成課程の受講要件を取得するための試験です。

- 1.【実施基準】選抜試験は、下表の実施基準により行います。
- 2.【試験場所】日本無線協会の本部又は各支部で行います。
- 3.【日程調整】**受験希望日は、受験する本部又は各支部と電話等で調整のうえ記入願います。**
- 4.【必要書類】以下の書類を**受験する本部又は支部へ送付して下さい。(受験希望日の10日前必着)**
  - ①選抜試験受験申込書 1通
  - ②住民票(個人番号(マイナンバー)が記載されていないもの。コピー不可)1通
  - ③写真1枚(無帽、正面、上三分身(胸から上)無背景、縦30mm,横24mm)  
ただし、選抜試験の受験地以外で第一級陸上特殊無線技士の養成課程を受講する場合は、写真2枚

5.【受験料】1名につき、6,600円(消費税含む)

【振込先】受験希望日の10日前までに、受験する支部の公募養成課程と同じ振込銀行口座に振り込んでください。

6.【キャンセル等】受験希望日の前日までに受験取消の申し出があった場合は、全額から送金手数料を差し引いた額をお返しします。

7.【当日持参するもの】

- ①選抜試験受験票
- ②筆記用具(鉛筆、消しゴム等)

8.【有効期間】合格通知書の有効期間は、選抜試験を実施した月の翌月から起算して1年間。

9.【お問い合わせ】

**本部 養成講習部 03-3533-6027**

第一級陸上特殊無線技士の公募養成課程は、日本無線協会の本部(東京)又は支部(札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、熊本、那覇)にて受講できます。

### ○選抜試験の実施基準

選抜試験の実施基準(総務省 電波法関係審査基準)					
試験項目	試験内容	試験問題	試験時間	合格点	備考
数学	(1) 代数(二次方程式、複素数、不等式及び対数) (2) 三角関数(加法定理、二角の和及び差の正弦余弦の積、二倍角及び半角の公式並びに正弦余弦の乗積公式) (3) 微分、積分の初歩(関数の制限、微分法、極大極小及び積分の基礎公式)	6問 各問 5点	2時間	60点	高等学校又は中等教育学校の電気科又は電気通信学科卒業程度  注
電気物理	(1) 静電気(電界、クーロンの法則、静電誘導、コンデンサ及び静電容量) (2) 電流(オームの法則、ジュールの法則及び抵抗率) (3) 電流の磁気作用(右ネジの法則、ビオ・サバールの法則、電磁誘導、フレミングの左手の法則、フレミングの右手の法則及びインダクタンスの計算)	4問 各問 5点			
電気回路の基礎	(1) 直流回路(電池の接続、抵抗の接続及びキルヒホッフの法則) (2) 交流回路(基本交流回路、直並列回路、共振及び相互インダクタンス)	6問 各問 5点			
電子回路	(1) 増幅作用(原理、回路動作、等価回路並びに電圧及び電力増幅) (2) 発振作用(原理及び発振器) (3) 変調作用(変調波の種類、振幅変調の原理及び周波数変調の原理) (4) 復調作用(原理(振幅変調波の復調及び周波数変調波の復調)) (5) 整流作用(原理、種類及び平滑回路)	4問 各問 5点			

注 問題の形式は多肢選択方式(択一式、補完式、正誤式などの設問に対する正答を解答肢の中から選択する方式をいう。)とする。

令和 年 月 日

公益財団法人 日本無線協会 殿

郵便番号

住 所

フリガナ

氏 名

生年月日 昭和/平成 年 月 日

電話番号※

## 選 抜 試 験 受 験 申 込 書

第一級陸上特殊無線技士の養成課程の受講資格を得るための選抜試験を受けたいので、次の書類<sup>(注)</sup>及び受験料を添えて申し込みます。

なお、希望する受験地、受験日及び養成課程の受講地は次のとおりです。

受験地： \_\_\_\_\_

受験日： \_\_\_\_\_ 年 月 日

養成課程の受講地： \_\_\_\_\_

(注)

- ①住民票（原本、個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの） 1通
- ②写真1枚（無帽、正面、上三分身（胸から上）、無背景、縦30mm、横24mm）  
ただし、養成課程を選抜試験の受験地以外で受講する場合は2枚。

※電話番号は日中連絡がとれる番号（職場、携帯等）を記載してください。

事務局使用欄

受付		手数料		実施日		受験番号	
----	--	-----	--	-----	--	------	--